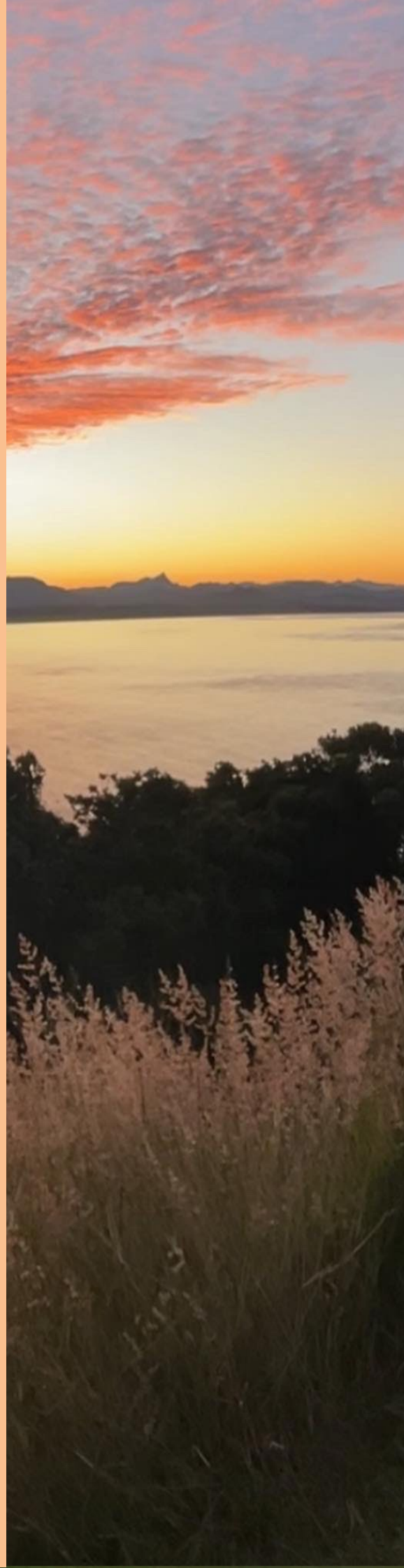


2023.JUNE AUSTRALIA Studying abroad report

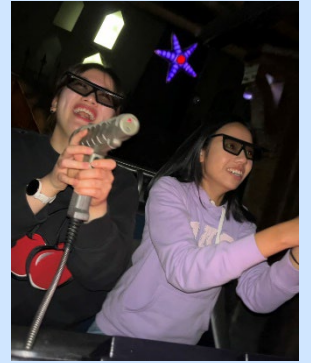
Namiki Hirohama
6月 月例報告書
Southern cross university in GC



“JUNE.”

何しろ忙しい6月であった。勉強→遊び→仕事の繰り返しで日々を充実させようと予定を毎日詰めすぎて、中旬に体調を崩した。3週間でパナソニックの最新型食洗器を買えるくらいの給料を稼ぎ、スケジュール帳は赤ペンで埋め尽くされるくらい。Don't rush into anythingと何度注意された事か…まあ楽しいからAll goodだ(笑)しかし、その分疲れは溜まる、私は特に疲れやすい人間だ。毎日8~9時間寝ている、でなければ日中眠くなったり、思考が回らなくなくなる・注意不足になる・落とし物をするなど多くの弊害を受ける。まとまりのない冒頭になったが、大学の学期終盤や成績、school holiday、差別、バイトなどbusyな日常生活に触れながら今月の留学生活について報告していきたい。

Movie world w/ Taiwanese and Columbian friends



基本的に、アトラクションはクレイジーです。

◎初めて受けたアジア人差別

Movie worldで台湾人の友達と歩いていたら、10代の白人の男の子2人が目の前に飛び出してブーイングをして罵声を浴びせてきた。アジアンヘイトとかでなく、ただ私の事が嫌いなだけだったかもしれないが、多民族国家のオーストラリアでもまだアジアンヘイトや人種差別があると思うと悲しい。しかし、オーストラリアの方々はフレンドリーで優しい良い人ばかりだ。バイトをしてもThat was amazing, thank you. Have a good dayなど絶対に言葉に出して感謝を伝えてくれる。バスの乗り降りの際に運転手さんに挨拶・thank youを言うなどオーストラリアは人と人の距離が近くて私はこの文化がとても大好きだ。

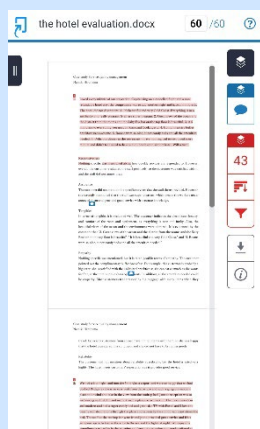


“The end of term 2 ☺”

6月上旬、term終盤は大忙しだ。最終課題が一気に押しよせる。この時期私は基本的に、図書館に引き籠る。授業がある毎週水曜日・木曜日はルーティンとして朝6時に起き、1時間かけて通学し、8時からのオンライン授業を大学で受ける。その後はPM4時からの2時間授業の前までひたすら勉強する。息抜きに大学で毎週あるヨガとズンバのフリークラスを受けたり、友達とカフェでカスタードクリームたっぷりのアーモンドクロワッサンを食べたりする。充実した海外留学生生活を送った。

“Last assignments”

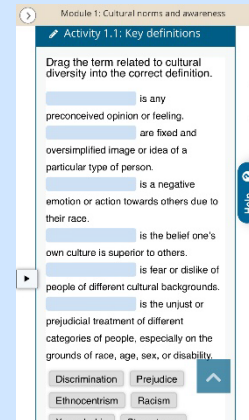
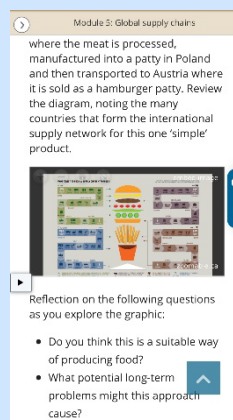
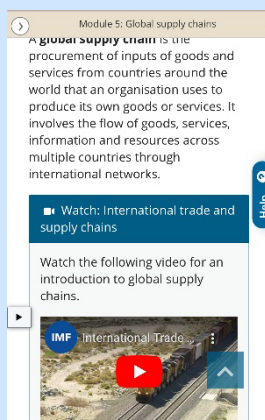
今期のService quality managementのタスクは、ゴールドコースト空港近郊にあるRYGA HOTELのサービス評価をRATERという評価基準に基づいて顧客のサービスに対する満足度と期待値を分析する1000文字のレポート。単語の意味/定義や評価基準など沢山の疑問があったため、事細かく教授に質問したかきもあり満点を取る事が出来た。最終評価もHigh distinctionを貰えた!!YAY!一方の、The interconnected worldは毎週のReflective writing(計2100文字)が評価の大部分を占める。ただ感想を書くのではなく、お題が出され各Moduleで何を学んだか・それによってどのような問題意識や既存の社会問題に対しての考えが変わったのか、参考文献を用いながら書かなければいけない。始めこそ、何をどのように書けばいいかわからず初めは10点中5点の最悪なスコアだったが、フィードバックを基に改善を続け6、7、8点と満足のいく点数を取れた。サザンクロス大学は、課題提出にTurnitinという書かれたレポートや論文の内容が盗用・剽窃されていないか類似箇所を検知する機能を使っている。ズルすれば丸わかり・真面目にやっても類似箇所があれば訂正しなければいけない学生にとっては恐怖のサイトだ。そのため、提出時には緊張が走る。



▼ 類似箇所は赤で表示される。
(引用箇所を示しているためこの場合は問題なし)

⇒ Module
大学の学習website上から講義内容について毎週自主学習をする。一つ一つのModule内容が気が遠くなるほど長く、5時間以上かかる時もある。

講義の前にModuleの解説や掲載されている参考資料や動画を視聴・Quizで自分の理解を確認する



“JOB”



時間とお金がある方は是非来てください;))

👉 サラダバーからメニュー・お客様の要望に沿ってサラダを作る

“How is working going?”

バイトを始めて一か月間が経った。仕事にも慣れてきて、お客さんと日常会話を楽しむ余裕も出てきた。私の主な業務内容は、オーダー+レジ+サラダ作りだ。初めはメニュー内容にも慣れずオーダーミスをしてしまった。ベジタリアンやビーガンオプション・グルテンフリーやドレッシング・サラダのカスタムなど、呪文のようなオーダーをしてくるお客さんも多い。オーストラリアのレストランやカフェはカスタムや自分の好みに合わせてオーダーをする形式が多いように感じる。これも、意思表示が得意なオーストラリアの文化なのか。

サラダを作る際も、温度や期限・品質などに注意しなければいけない。15種類以上ある野菜を決められた通りにカットするのも結構大変だ。しかし、新しい学びや知識を身につける事が出来るため楽しく仕事をしている。特に、バイト先の同僚と話をするのはとても楽しい。オーストラリアやスペイン・チリetc...、また日本からのワーホリの方々もいる。日本の仕事を辞め海外に飛び出してきた人や、永住権を取ろうとしている人などからの話はとても興味深い。将来どうなるかは自分でも分からないが、生涯単一の仕事に縛り付けられずに幅広い選択をしながら生きて良いのだと実感した。文芸大の友達が就職活動に奮闘している話を聞くと、将来について重く考えがちになるが、少なくとも私は自分の好きを探求し、日々新しい環境や体験に囲まれながら人生を送りたいと思う。もしかしたら、日本国外でキャリアを積むかも! など自分の人生の選択を狭めずに生きたい。(家族にオーストラリアに移住しようと誘い続けていますが、断られている。)

！働きやすいオーストラリアの労働環境！

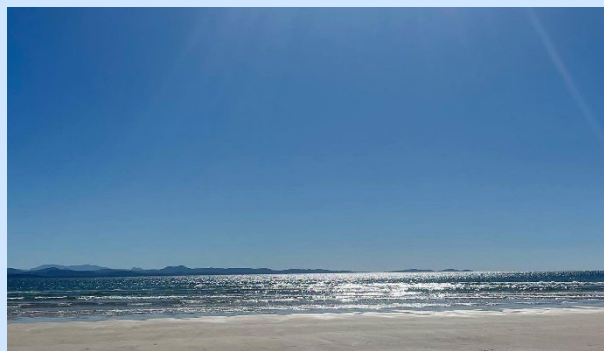
オーストラリアの労働基準法にのっとり、4時間の労働中に10分の休憩をとる事ができる。26ドルの高いお給料+バイトで使った服の洗濯手当てまで貰える。さらに、土日はお給料が31ドル(約3000円)。帰国後は、家族に鰻をご馳走するとしよう。最近は何安が恐ろしいほどに進み、毎日震えながら為替レートを確認している。

“My Daily Life”

School holidayは沢山働いて、沢山遊んだ。ボーリング、ビリヤード、初の字幕なし映画、アウトレット、遊園地、友達の家でお泊りなど、毎日どこかしらに遊びに行った。

“Byron Bay”

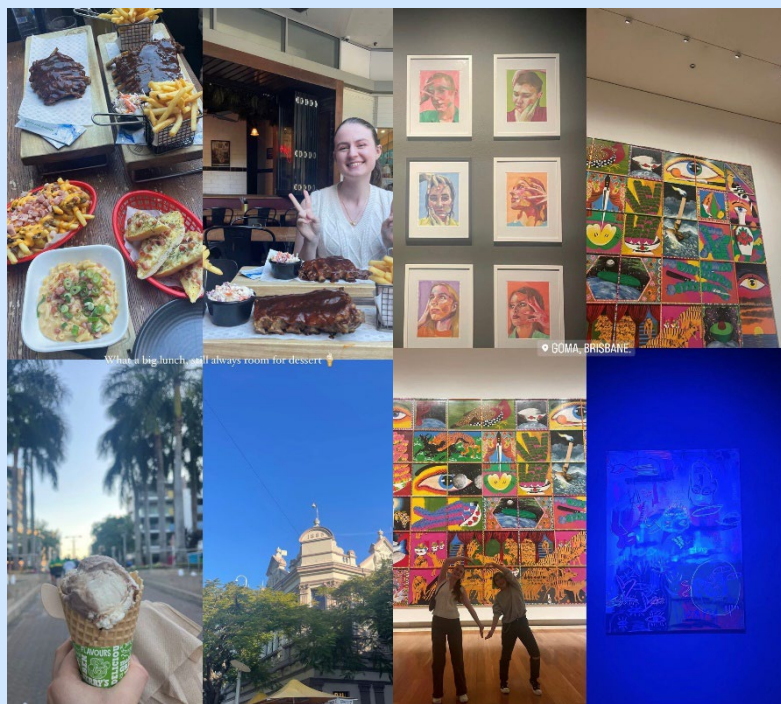
台湾・フィリピン・マレーシア・香港の友達とオーストラリア最東端にある絶景の見えるByron Bayに行った。予定時間の3時間遅れでやっと全員が集合しBBQを楽しんだ後、灯台で絶景を眺めた。



“Brisbane”

電車で往復3時間の隣都市のBrisbaneにAussieの友達と遊びに行った。Museumやart galleryに行き、美術品そっちのけで永遠におしゃべりをし、巨大なRibsを手で食べた(AU流)

Brisbaneは美術館や博物館などの施設が無料なため、観光地としても大人気！



“Sea Fire”

ドイツVSスウェーデンの国際花火対決
爆音の音楽の中、ビーチで見る花火は日本の風流な楽しみ方とは違ってまた楽しかった。



Thank you

本当にとても最上級に、楽しい。日本に帰りたくない。新たな出会いや各国からの友達、美しい自然、国際恋愛、勉強や仕事。今の私は多分世界で一番幸せ者で充実した留学生活を送っていると感じる。毎日が刺激的で、充実度が日本にいた時とはまるで違う。正直、オーストラリアにいる自分の方が好きだ。念願の伝承文学ゼミやサークル活動、中国語学習、国際交流活動や旅行など帰国後もやりたいことが沢山ある。大好きな家族と友達も帰りを待っているだろう。でも、正直ここに永住したいと思うほどオーストラリアでの生活が大好きなのだ。でも、結局は帰国しなければいけないのだから、円安がこれ以上進行しないよう祈り、来月もガツガツ働いて勉強して沢山遊んで充実した月にしたい。